

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
横浜市中部地域療育センター児童発達支援事業所フルール		令和7年 4月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	限られたスペースで利用児に合わせた環境設定をしている	日々の保育では適当だが、個別対応の必要性によって手狭となる
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	クラスやこどもの状態によって職員を配置	職員の欠員がある際は保育内容の変更やセンターに応援要請が必要となる
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	掲示物などの活用や空間を仕切るなどしている	ビルの構造上、階段が急。安全把握にはより慎重さが求められる
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	こどもの状態に合わせ保育室の構造を設定、必要に応じ変更している／毎日の掃除に加え、不備や改善事項は職員で共有	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	教室の内外に休憩場所を設置	安全把握上、人員が足りず活用が難しい時がある
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	日々のミーティングや学期末ごとに振り返り、次期目標設定を全職員で行っている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者プログラムの感想等で、意向を汲み取り、次期目標設定を全職員で行っている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日々のミーティングや定期的に会議を開催している	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	他施設や他部門からの見学等を通して、振り返り時に意見をいただくようにしている	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	Web研修で参加の機会は増えた／研修日を設定し外部研修を実施	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	職員間で内容を確認の上、事業所掲示、HP公表、マチコミ配信を行っている	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	6	0	本人や保護者の意向を元に目標設定、複数の職員でこどもの様子を丁寧に把握している	
	13 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	初期評価表を用いる等して複数の職員で内容の検討及び作成を行っている	
	14 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	ねらいや目標を記録に記載し、確認、振り返りをしやすいようにしている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	発達検査等の結果や日々の行動観察から確認している	フォーマルなアセスメントはできていない
	16 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	3		児童発達支援ガイドラインの内容を把握する必要がある／「地域支援・地域連携」については落とし込めていない
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	定期的にミーティングを行い、内容、ねらい、時間どり等、各クラスの状態を共有し検討している	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	様々な経験の提供を考えている／クラス状況により、似通った内容になることもあるが安定した参加での取り組みとなっている	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	子どもの特性や活動内容により、ねらいや活動形態を設定している	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	全職員で情報を共有後、各クラスで具体的にすり合わせを行っている	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	20同様	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	必要時、すぐに確認できるように保管している	
	23 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	中間報告を用いて目標の確認、再設定を行っている	相談支援事業所と連携し、他事業所の支援状況を確認していけるとよい

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	0	0	保育外の時間帯にクラスと主任で参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	0	幼保への巡回訪問、関係機関からの見学を随時受け入れている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	0	25同様	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	0	学校側との直接的なやりとりはないが、個別支援計画書を送り書類として保護者を介して共有している	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	-	-		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	OTや心理スタッフから助言を受ける機会を設けている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	0	並行通園のため交流等の行事はない	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	0	0	定期的な個別報告、面談のほか、連絡シート、電話対応など適宜やりとりをしている	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	0	月に1回ほど勉強会や懇談会、保育参観など実施している	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	重要事項説明会及び事業所内に掲示している	
	36	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	年度初めや中間報告で都度こどもの様子を共有、意向を確認している	
	37	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	6	0	実際の保育の様子等踏まえてお伝え、使用しているグッズを紹介する等している	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	33同様	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	懇談会にて情報共有、意見交換を行っている	事業所の環境上、きょうだいの交流は難しい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	保護者に確認の上、SWと情報を共有、必要に応じて関係機関との連携を行っている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	月ごとに予定表を配布、毎回報告の時間に活動内容等をお伝えしている	SNSの使用はない
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	巡回の際に個人情報を持ち出し確認や郵送時のダブルチェックを徹底している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	意向の確認(表出)や予告等、こどもに合わせたカードを使用する等している	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	民間事業所への概要説明会、見学を実施している	地域住民への公開はない
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルを元に確認、準備を行っている	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	避難訓練実施後に書面を通して保護者への報告を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	喫食場面はないが事前に症状や対応は確認している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	センターで行われる研修に参加している	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	災害時マニュアルの作成、公開をしている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	必ず職員間で共有し再発防止対策を検討している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止研修を実施している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	6	0	危険行動、他害、自傷により制止が必要な児について対応の検討を図り、対応について保護者と確認をしている	